

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公開番号】特開2005-86469(P2005-86469A)

【公開日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-316248(P2003-316248)

【国際特許分類】

H 03H 9/24 (2006.01)
B 81B 3/00 (2006.01)

【F I】

H 03H 9/24 Z
B 81B 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月12日(2006.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特定周波数帯域の信号を透過または遮断するフィルタ装置であって、
直流電圧が印加される可動構造体である振動子と、
前記振動子に振動を励起するための入力電極と、
前記振動子に励起された振動を検出するための出力電極と、
前記振動子への印加電圧の値を可変させる電圧調整手段と
を備えることを特徴とするフィルタ装置。

【請求項2】

特定周波数帯域の信号を透過または遮断するフィルタ装置であって、
直流電圧が印加される可動構造体である少なくとも一つの振動子と、前記振動子に振動
を励起するための入力電極と、前記振動子に励起された振動を検出するための出力電極と
を有してなる振動子群を複数備え、

各振動子群は、それぞれが異なる中心周波数に対応したものであり、

前記各振動子群が対応する中心周波数から特定される周波数帯域の信号を透過または遮
断するように前記各振動子群が電気的に接続されており、

前記各振動子群のうち、少なくとも一つの振動子群には、当該振動子群における振動子
への印加電圧の値を可変させる電圧調整手段が設けられている
ことを特徴とするフィルタ装置。

【請求項3】

特定周波数帯域の信号を透過または遮断するフィルタ装置であって、
可動構造体である振動子と、
前記振動子に振動を励起するための下部電極と、
印加電圧の値を可変させる電圧調整手段と
を備えることを特徴とするフィルタ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明は、請求項2に記載の如く、直流電圧が印加される可動構造体である少なくとも一つの振動子と、前記振動子に振動を励起するための入力電極と、前記振動子に励起された振動を検出するための出力電極とを有してなる振動子群を複数備え、各振動子群は、それぞれが異なる中心周波数に対応したものであり、前記各振動子群が対応する中心周波数から特定される周波数帯域の信号を透過または遮断するように前記各振動子群が電気的に接続されており、前記各振動子群のうち、少なくとも一つの振動子群には、当該振動子群における振動子への印加電圧の値を可変させる電圧調整手段が設けられていることを特徴とするものである。

また、本発明は、請求項3に記載の如く、特定周波数帯域の信号を透過または遮断するフィルタ装置であって、可動構造体である振動子と、前記振動子に振動を励起するための下部電極と、印加電圧の値を可変させる電圧調整手段とを備えることを特徴とするものである。